

記載日 4年 3月 1日

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

職員 6名配布

回答 6名

| | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--|---|----|---------------|-------------------|---|
| 環境・ 体制整備 | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか | 6 | | | 2つの部屋を静養室、活動室にそれぞれ分け工夫してる |
| | ② 職員の配置数は適切であるか | 5 | | 1 | 配置数は満たしているが、手薄と感じることがある。 |
| | ③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 1 | 5 | | 外がすべて砂利の為、車いすが通るのが困難。職員が補助することで過ごせる。 |
| 業務改善 | ④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 5 | | 1 | |
| | ⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 5 | 1 | | |
| | ⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 5 | 1 | | |
| | ⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 5 | 1 | | |
| | ⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 4 | 1 | 1 | 県や市の研修会に参加している。又内部研修は月に一回予定しているもののできない月もある。 |
| 適切な 支援の 提供 | ⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | | | |
| | ⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 5 | 1 | | |
| | ⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | 2 | | |
| | ⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 6 | | | 毎週活動プログラムを決め固定化しないように工夫している |
| | ⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 6 | | | |
| | ⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | | | 毎日時間を区切り個別・集団と活動を行っている |
| | ⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 6 | | | 前日あったことから、支援内容等を共有している |
| ⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 6 | | | 保護者からの情報など共有している。 | |
| | ⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 6 | | | 活動カレンダーを作り、その時の状況を詳しく記載している |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|---|---|---|
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 6 | | | 6ヶ月毎にモニタリングを行い、サービス計画の見直しを図っている。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 5 | 1 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか | 5 | 1 | | 児童発達支援管理責任者が参加している。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 5 | 1 | | 学校の月のたより等をいただき、情報交換を行っている |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | 6 | 受け入れる体制ではない。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 5 | 1 | | |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | 6 | 利用児童が小学校低学年のためにまだ取り組めていない。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | | 6 | |
| | ㉖ | 放課後等児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | | | 6 | |
| | ㉗ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 5 | | 1 | 毎月の会議に参加している |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | | 1 | |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | 6 | |
| 保護者への説明責任等 | ⑳ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 | | | |
| | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 6 | | | |
| | ㉒ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 5 | | 1 | コロナ渦で開催できていないが、イベントがあればその都度保護者交流の場を設けている。 |
| | ㉓ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | | | その場ですぐ対応できるようにしている |
| | ㉔ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 6 | | | 毎月「あぐりきッズだより」を発行し、子どもたちの様子など伝えている。 |
| | ㉕ | 個人情報に十分注意しているか | 6 | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|-----------------------------------|
| | ③⑥ | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | 1 | | |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか | | | 6 | コロナ渦でなかなかできていない |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 5 | 1 | | |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 6 | | | 毎月避難訓練を実施し、内容は「あぐりきつずだより」で知らせている。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | | 1 | 市や法人での研修会に参加し、スタッフ全員で共有している。 |
| | ④① | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 6 | | | |
| | ④② | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | | 6 | アレルギーのある児童がいないために現在是对応していない。 |
| | ④③ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 6 | | | ヒヤリハットがあった時にはすぐに事業所内で話し合いを行っている。 |

